

胆嚢結石症

川口市立医療センター
消化器外科 **伊藤 隆介**



胆嚢は右上腹部、肋骨下縁辺りにあり、肝臓で作られる胆汁という消化液を一時的に貯留、濃縮して食事に伴い排出する臓器です。胆汁は肝臓から胆管という管を通り、脇道の胆嚢に保存され、再び胆管に戻り十二指腸に排出されます。この胆汁成分を元に胆石ができることがあります。胆石は胆管にできることもあります。多くは胆嚢内で胆汁の流れを邪魔して痛み（胆石発作）や炎症（急性・慢性胆嚢炎）を起こします。また、胆石が胆管に流出して障害を起こすと胆管炎や膵炎を引き起こします。胆嚢・胆管いずれでも重症になると、ショックや臓器不全など命にかかわることもあり、注意が必要です。

日本人の1～2割に胆石ができるといわれ、実際に症状が出て治療されるかたはさらにその1～2割とされます。痛み・炎症など有症状のかたが治療の対象となり、ほとんどが腹腔鏡手術で安全に施行されています。とはいえ手術である以上、合併症や死亡例もゼロではありません。急性症状では緊急で内科的治療・処置や手術を行うこともあります。緊急性がなければ手術リスクや希望に応じた手術時期の調整、手術以外の内服・食事管理を相談することも可能です。また、胆嚢の周りには胃・十二指腸・肝臓・膵臓・大腸・腎臓など多くの臓器が近接しているため、胆石があっても痛みや炎症の原因が胆石とは限りません。上腹部の痛みや胆石を指摘されたら、まずはかかりつけ医や専門医での診断と食生活の指導や手術適応などを相談しましょう。

「指定難病医療給付制度」をご存じですか？

指定難病(厚生労働大臣が指定する疾病)は、現在338疾病あります。この指定難病で、一定の認定基準を満たしているかたに指定難病の治療に係る医療費の一部を助成する制度です。この制度を受けるには、埼玉県から認定される必要があります。

●対象者（次のどちらにも該当するかた）

- 指定難病に罹患している
(疾患ごとの認定基準を満たす必要があります。申請前に主治医にご相談ください)
- 川口市に住居票がある



●助成対象となる医療の範囲

- 指定難病や当該指定難病に付随して発生する傷病に関する医療など
(例)健康保険を使用した「入院、外来、薬剤の支給、訪問看護」
介護保険の給付で使用した「訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導」など
※文書料など、保険適用外の費用やサービスは対象外です。

●医療給付を受けるには？

川口市保健所に支給認定申請を行う

※難病指定医が作成した臨床調査個人票(指定の診断書)などの申請書類が必要です。



埼玉県の審査を受ける

埼玉県から認定されると医療受給者証が交付される

※申請日から受給対象となりますが、交付まで2～3カ月程度かかります。



詳細は埼玉県ホームページをご覧ください。

問 疾病対策課 ☎048-423-6708

イベントスケジュール

5日(土)
第2回川口花火大会
場 荒川運動公園

11月

2日(金)
かわぐち光のファンタジー2022点灯式
場 川口西公園(川口駅西口) →13ページ

12月

4日(日)
第40回川口マラソン大会
場 青木町公園総合運動場(スタート・ゴール会場)

27日(火)～31日(土)
スーパースターフェスタ2022
場 川口オートレース場

川口市 広報課 職員による
ちょっとくだけた!? 市政情報番組
85.6 MHz City Information
FM Kawaguchiで放送中
放送日: 平日の10分間...10:00、13:50、17:50、20:00

LINE 川口市 公式アカウント
LINE ID @kawaguchi.city
※さらに川口情報メールと同じ内容の受信も可能

暮らしに役立つ ぜひご利用ください
きらり川口情報メール



自分らしく、演じるといふこと

俳優 **濱津 隆之** さん

作中で見せるその優しいまなざしとユーモア。人柄の良さがにじみ出る演技で人気を集める俳優、濱津さん。この道を選んだ理由を「実は初めから確たる思いがあった訳では全く無く、最終的に流れ着いた場所なんです」と教えてくれた。

「自分のことですら多分死ぬまでわからないのに、他人を演じなければならぬ。ここに難しさがあると思います。俳優であることをこう捉える感覚が、見るものを惹きつける、謙虚で暖かみのある「自然な演技」につながっているのかもしれない。今後はちよつとした映像作品とかを、自分でも作ってみたいなどは、なんとなく思っています」とおだやかに語る俳優に、興味

川口生まれ川口育ち。人前でふざけたりして、人を笑わせることが大好きだった少年は、大学を卒業後1年間のアルバイトで費用を貯め、タレントの養成所に飛び込んだ。「1年間お笑いの勉強をして、卒業後は芸人として活動を始めました。人を笑顔にすることは楽しい。でも自分が好きな音楽に関わる仕事にも、一生のうち一度は携わってみたいんです。興味のあることをやり尽くすという意志は強く、クラブのDJに転身し

さまざまな劇場の舞台で活動する中、上田慎一郎監督にその人間味を感じさせる演技が認められ、2018年公開の映画「カメラを止めるな!」の主演に抜擢。役にはまった演技で第42回日本アカデミー賞の優秀主演男優賞を受賞し、以後映画やドラマ、CMなどへの出演依頼が殺到した。「あの映画のヒットのおかげでようやくアルバイトをせずに、俳優一本で生活できるようになりましたけど、変わったことはあまりないです」と周囲の喧騒をよそにあくまで自然体を貫く。見るものをほっとさせ

